

ソフトウェアエンジニアリング - 調査 #22

JavaFXプログラムの3つのデプロイ方法

2014/11/30 18:03 - 高橋 徹

ステータス:	却下	開始日:	2014/11/30
優先度:	通常	期日:	2014/12/31
担当者:	高橋 徹	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			

説明

JavaFXプログラムはデプロイ（実行）方法として次の3つが用意されている。

1. スタンドアロン
2. Java Web Start
3. ブラウザ組み込み（アプレット）

それぞれのデプロイ方法の作成方法、制約を調べ、サンプルプログラムを作成し報告書にまとめる。

関連するチケット:

関連している調査 #23: JavaFXコマンドラインオプション	終了	2014/11/30	2014/12/31
----------------------------------	----	------------	------------

履歴

#1 - 2014/11/30 18:04 - 高橋 徹

- 関連している調査 #23: JavaFXコマンドラインオプション を追加

#2 - 2017/10/15 21:27 - 高橋 徹

- ステータス を 新規 から 進行中 に変更

- 進捗率 を 0 から 50 に変更

#3 - 2017/10/15 21:27 - 高橋 徹

- ステータス を 進行中 から 却下 に変更

- 進捗率 を 50 から 100 に変更

ブラウザ組み込みは、今後ブラウザのプラグイン機構が廃止となるので

Java Pluginが動作しなくなる。

Java Web Startは、セキュリティの強化でアプリケーション電子署名が必要になってきており、それなりに高額な費用が発生する。

よって、本調査は凍結（却下）